

Ⅱ 5年間を通しての具体的な目標と取組

1 5年間を通しての具体的な目標

- i) 生徒のコミュニケーション能力を高めることで生きる力を育成し、社会との繋がりを深めます。スクールカウンセラー・外部講師の協力を得て、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング等を取り入れ、生徒のコミュニケーション能力の向上を図ります。
- ii) 地元企業やハローワーク等の協力を得て、面接指導や講演会を実施し生徒の社会性の醸成を図ります。

2 目標を達成するための具体的な方法、取組等

Method1 授業改善に努め、地域社会に貢献できる力の育成、生徒の学力の向上を目指します。

- i) 主体的・対話的で深い学びの視点から、言語能力を高める取り組みをします。具体的にはペア学習やグループ学習など生徒同士が学びあう場面を設定します。
- ii) 生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するために、発問を工夫し、積極的な発言を促します。
- iii) わかる授業の実践のため、ICT機器の活用や生徒の学習の過程や成果を評価するよう学習評価の改善に取り組み、生徒の学習改善、教師の指導改善にいかし、継続的に組織的な授業改善の充実に取り組みます。
- iv) 教員の専門性、学習指導及び生徒指導、特別な配慮や支援が必要な生徒への対応等の資質・能力を高めるために、校内研修の充実を図ります。

Method2 キャリア教育全体計画に基づき、各種事業を計画的に実施し、生徒の人的成長と進路実現の支援に努めます。

- i) LHRやCF（Creative Future：総合的な探究の時間）を核として、キャリア教育全体計画を踏まえ、各学年の特色を生かしたキャリア教育を実践します。
- ii) 生徒の進路希望に合わせた、きめ細かい指導を行い、生徒の進路実現を達成します。
- iii) 地域社会の要望等を取り入れた教育課程の下、国公立大学進学希望者への指導の充実に努め、進路実現を図ります。また、就職内定率100%を目指します。

Method3 生徒のキャリア形成に繋がる高度な検定試験に挑戦します。

- i) 授業における基礎的な知識・技術の習得及び定着を踏まえ、補習や添削指導を通じて応用力の育成を図り、高度な資格の取得を目指します。
- ii) 教員の専門性を高めるために、研修会への参加及び資格取得等の研修に積極的に取り組みます。

Method4 総合ビジネス科の特徴である地域連携学習を通して、地域社会に対する理解を更に深め、校内外への情報発信に努めるとともに、将来の地域社会を担う人材の育成に努めます。

- i) 「総合的な探究の時間」や専門科目で身に付けた知識・技術を地域社会に還元するため地域産業及び観光を推進する活動や地域住民を対象としたICT活用の講習会などを実施します。
- ii) 地域で行われる行事やイベントに積極的に参加し、社会に開かれた教育課程で学びを深め、身に付けた資質・能力を総合的に実践すると同時に地域社会に学習の成果を発信していきます。